

第2 公営企業の業務の状況

1 長野県病院事業の業務の状況

(1) 事業の概要

平成15年度後期における県立5病院の利用人員は、入院17万4,385人、外来22万8,985人、計40万3,370人で前年度同期に比較し、7,823人の増加となりました。

収益については、前年同期に比較し入院収益と外来収益を合わせ2億8,375万9,450円の増収となりました。

また、平成15年度後期における介護老人保健施設2施設の利用人員は、入所1万7,221人、通所497人、計1万7,718人で、収益については、入所と通所を合わせ2億535万5,315円となりました。

病院の施設整備については、須坂病院整備事業（東棟解体・外構工事等）及び駒ヶ根病院のボイラー改修事業等を実施したほか、各病院の医療機器の整備充実に努めました。

平成15年度後期の実績は、次表のとおりです。

病院名	診療科目	病床数	患者数				延べ人員計
			入院		外来		
			延べ人員	1日平均	延べ人員	1日平均	
長野県立須坂病院	内科、神経内科、小児科、外科、循環器科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、脳神経外科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、精神科、形成外科	336	54,860	300	78,832	657	133,692
長野県立駒ヶ根病院	精神科、神経科	310	34,693	189	14,148	118	48,841
長野県立阿南病院	内科、小児科、外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、精神科	196	20,276	111	37,263	310	57,539
長野県立木曾病院	内科、神経内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、脳神経外科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、放射線科、麻酔科、消化器科、リハビリテーション科、精神科	271	42,434	232	76,415	637	118,849
長野県立こども病院	小児科、小児外科、心臓血管外科、循環器科、眼科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、産科、耳鼻いんこう科、神経科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科	200	22,122	121	22,327	186	44,449
計		1,313	174,385	953	228,985	1,908	403,370

介護老人保健施設名	入所定員	利用者数				延べ人員計
		入所		通所		
		延べ人員	1日平均	延べ人員	1日平均	
長野県阿南介護老人保健施設 アイライフあなん	50	8,601	47	214	2	8,815
長野県木曾介護老人保健施設 アイライフきそ	50	8,620	47	283	2	8,903
計	100	17,221	94	497	4	17,718

(2) 経理の状況

損 益 計 算 書
(平成15年4月1日から平成16年3月31日まで)

1	医業収益	138億 5132万 6265円	
2	医業費用	165億 4462万 1367円	
	営業損益		△ 26億 9329万 5102円
3	医業外収益	46億 1828万 6181円	
4	医業外費用	14億 8747万 5769円	31億 3081万 412円
5	介護老人保健施設収益	4億 8723万 2930円	
6	介護老人保健施設費用	4億 2697万 4335円	6025万 8595円
	経常損益		4億 9777万 3905円
7	特別利益	5330万 6293円	
8	特別損失	1001万 5367円	4329万 926円
	当年度純損益		5億 4106万 4831円
	当年度繰越欠損金		△ 112億 5529万 5383円
	当年度未処理欠損金		△ 107億 1423万 552円

貸 借 対 照 表
(平成16年3月31日)

資 産 の 部

1	固定資産	458億 6062万 5677円	
2	流動資産	44億 5833万 3657円	
3	繰延勘定	13億 2980万 1939円	
	資産合計		516億 4876万 1273円

負 債 の 部

4	固定負債	1億 3429万 30円	
5	流動負債	16億 4622万 7401円	
	負債合計		17億 8051万 7431円

資 本 の 部

6	資本金	370億 7123万 9567円	
7	剰余金	235億 1123万 4827円	
8	欠損金	107億 1423万 552円	
	資本合計		498億 6824万 3842円
	資本負債合計		516億 4876万 1273円

(3) 資産、企業債及び一時借入金の現在高

(平成16年3月31日)

ア	資 産	516億 4876万 1273円
イ	企 業 債	368億 2513万 2293円
ウ	一 時 借 入 金	0円

(4) 平成16年度予算の概要及び経営の方針

ア 予算の概要

営業関係については、5病院の年間延べ患者数は、入院34万5,000人、外来46万3,300人、また、介護老人保健施設の年間延べ利用者数は、入所3万4,000人、通所1,000人を見込み、収入で187億6,926万8千円、支出で195億3,811万3千円を計上しました。

建設改良関係については、阿南病院療養病棟整備事業3,064万3千円のほか、医療器械整備事業6億1,201万7千円を計上しました。

なお、予算の内容は、次のとおりです。

(収益的収入及び支出)

	収	入
第1款 病院事業収益		187億6926万8千円
第1項 医業収益		139億 103万6千円
第2項 医業外収益		43億8903万 円
第3項 介護老人保健施設収益		4億7915万2千円
第4項 特別利益		5万 円

	支	出
第1款 病院事業費用		195億3811万3千円
第1項 医業費用		176億1025万8千円
第2項 医業外費用		14億6886万 円
第3項 介護老人保健施設費用		4億5529万2千円
第4項 特別損失		370万3千円

(資本的収入及び支出)

	収	入
第1款 資本的収入		23億3285万1千円
第1項 企業債		6億7800万 円
第2項 他会計負担金		16億5485万1千円

	支	出
第1款 資本的支出		31億7535万4千円
第1項 建設改良費		7億4089万5千円
第2項 企業債償還金		24億3316万3千円
第3項 投資		129万6千円

イ 経営の方針

公共の福祉と地域住民の医療確保に努め、企業の経済性との調和を図り、計画的、効率的に運営し、経営の健全化に努めます。

2 長野県電気事業の業務の状況

(1) 事業の概要

平成15年度後期の電気事業は、既設の美和発電所以下14発電所（最大出力9万9,050キロワット）の運転管理を行い、合計1億6,079万1,060キロワットアワーの電力を供給しました。また、既設発電所の改良工事等を実施しました。

なお、供給電力量及び電力料金収入の状況は、次の表のとおりです。

月別	区分 供給電力量 (A)	目標電力量 (B)	比率 (A)/(B) ×100 (%)	料金収入 (定額・従量併用制)
前期計	2億7901万5875kWh	2億3828万6000kWh	117.1	20億2711万9513円
10	3280万4913kWh	3002万3000kWh	109.3	3億2061万1554円
11	3079万1627kWh	2347万6000kWh	131.2	3億1822万2371円
12	3143万1777kWh	2583万4000kWh	121.7	3億1887万6478円
1	1711万1334kWh	2094万5000kWh	81.7	3億 83万 880円
2	1796万4548kWh	2177万4000kWh	82.5	3億 191万2980円
3	3068万6861kWh	3277万1000kWh	93.6	2億5114万6937円
後期計	1億6079万1060kWh	1億5482万3000kWh	103.9	18億1160万1200円
合計	4億3980万6935kWh	3億9310万9000kWh	111.9	38億3872万 713円

(2) 経理の状況

損 益 計 算 書
(平成15年4月1日から平成16年3月31日まで)

1 営業収益	37億6347万7730円	
2 営業費用	<u>26億9877万3391円</u>	
営業利益		10億6470万4339円
3 営業外収益	1億2668万4299円	
4 営業外費用	<u>9億1232万5722円</u>	<u>△7億8564万1423円</u>
経常利益		2億7906万2916円
5 特別損失	<u>4億6550万3939円</u>	<u>△4億6550万3939円</u>
当年度純損失		1億8644万1023円
前年度繰越利益剰余金		<u>2億1892万6028円</u>
当年度未処分利益剰余金		<u>3248万5005円</u>

貸借対照表
(平成16年3月31日)

資産の部		
1 固定資産	297億7889万9736円	
2 流動資産	53億2578万2998円	
3 繰延勘定	<u>154万2095円</u>	<u>351億 622万4829円</u>
資産合計		
負債の部		
4 固定負債	2億4936万3086円	
5 流動負債	<u>2億4517万7121円</u>	
負債合計		4億9454万 207円
資本の部		
6 資本金	286億1298万8888円	
7 剰余金	<u>59億9869万5734円</u>	
資本合計		<u>346億1168万4622円</u>
負債資本合計		<u>351億 622万4829円</u>

(3) 資産、企業債及び一時借入金の現在高 (平成16年3月31日現在)

ア 資 産	351億 622万4829円
イ 企 業 債	171億5860万4218円
ウ 一時借入金	0円

(4) 平成16年度予算の概要及び経営の方針

ア 予算の概要

(ア) 営業関係

美和発電所以下14発電所に係る供給目標電力量を3億9,538万8千キロワットアワーと見込み、これに伴う電力料金等の収益の合計39億3,289万円を計上しました。

また、水力発電費等維持管理に要する費用の合計37億4,322万1千円を計上しました。

(イ) 建設関係

電力の安定供給を図るため、既設発電所の改良を計画的に実施します。

なお、予算の内容は、次のとおりです。

(収益的収入及び支出)

	収	入
第1款 電気事業収益		39億3289万 円
第1項 営業収益		39億3280万7千円
第2項 営業外収益		8万3千円
	支	出
第1款 電気事業費用		37億4322万1千円
第1項 営業費用		27億4196万4千円
第2項 営業外費用		10億 125万7千円

(資本的収入及び支出)

	収	入
第1款 資本的収入		2539万5千円
第1項 工事受託金		2539万5千円
	支	出
第1款 資本的支出		13億6133万3千円
第1項 建設改良費		2億 656万8千円
第2項 受託工事費		2561万 円
第3項 企業債償還金		11億2915万5千円

イ 経営の方針

美和発電所以下14発電所の運転管理については、諸設備の整備点検に万全を期すとともに、効率的な発電計画により収入の増加を図り、安定した経営に努めます。

3 長野県ガス事業の業務の状況

(1) 事業の概要

平成15年度後期のガス事業は、長野市ほか7市6町の供給区域に2,842万4,316立方メートルのガスを供給し、安定供給の確保と保安の充実を図るため、中圧導管網の整備、経年管の布設替及びお客様の財産である経年埋設内管の取り替え促進に努めたほか、新規需要に対応するための本支管拡張工事を実施しました。

なお、供給戸数、ガス販売量及び料金収入の状況は、次の表のとおりです。

月別	区分	供給戸数	ガス販売量	料金収入
前期計		—	2288万9382m ³	20億7551万331円
10		5万441戸	382万4202m ³	3億1043万8010円
11		5万447戸	395万9647m ³	3億4105万3271円
12		5万483戸	427万9198m ³	3億7430万8499円
1		5万503戸	519万9299m ³	4億6009万2284円
2		5万476戸	597万5060m ³	5億3948万2836円
3		5万465戸	518万6910m ³	4億6852万9399円
後期計		—	2842万4316m ³	24億9390万4299円
合計		—	5131万3698m ³	45億6941万4630円

(2) 経理の状況

損 益 計 算 書

(平成15年4月1日から平成16年3月31日)

1 営業収益	45億9457万1820円	
2 営業費用	<u>40億8481万3463円</u>	
営業利益		5億975万8357円
3 営業外収益	5452万1959円	
4 営業外費用	<u>2億8267万3122円</u>	<u>△2億2815万1163円</u>
経常利益		2億8160万7194円
5 特別利益	1億7714万2707円	
6 特別損失	<u>2億138万9623円</u>	<u>△2424万6916円</u>
当年度純利益		2億5736万278円
前年度繰越利益剰余金		<u>2億1458万534円</u>
当年度未処分利益剰余金		<u><u>4億7194万812円</u></u>

貸 借 対 照 表

(平成16年3月31日)

資産の部		
1 固定資産	209億2951万2370円	
2 流動資産	23億2633万6512円	
3 繰延勘定	<u>27万1714円</u>	
資産合計		<u>232億5612万596円</u>
負債の部		
4 固定負債	7億3324万9053円	
5 流動負債	<u>2億2117万1263円</u>	
負債合計		9億5442万316円
資本の部		
6 資本金	119億1100万6550円	
7 剰余金	<u>103億9069万3730円</u>	
資本合計		<u>223億170万280円</u>
負債資本合計		<u>232億5612万596円</u>

(3) 資産、企業債及び一時借入金の現在高 (平成16年3月31日現在)

ア 資 産	232億5612万596円
イ 企 業 債	89億5628万5663円
ウ 一時借入金	0円

(4) 平成16年度予算の概要及び経営の方針

ア 予算の概要

(ア) 営業関係

長野市ほか7市6町の5万500戸に、年間ガス供給量5,229万5千立方メートルを予定し、ガス料金等の収益の合計48億9169万2千円を計上しました。

また、ガス購入費、供給設備の維持管理等に要する費用の合計46億7854万5千円を計上しました。

(イ) 建設関係

安定供給の確保と保安の充実を図るため、中圧導管のループ化を計画的に進めるほか、経年管の布設替を実施します。また、新規需要に対応するため本支管の拡張工事を実施します。

なお、予算の内容は、次のとおりです。

(収益的収入及び支出)

	収	入
第1款 ガス事業収益		48億9169万2千円
第1項 営業収益		48億9096万5千円
第2項 営業外収益		72万7千円

	支		出
第1款 ガス事業費用			46億7854万5千円
第1項 営業費用			43億7217万3千円
第2項 営業外費用			3億 637万2千円
(資本的収入及び支出)			
	収		入
第1款 資本的収入			3億6666万 円
第1項 負担金			3億6666万 円
	支		出
第1款 資本的支出			18億5882万 円
第1項 建設改良費			12億9730万2千円
第2項 企業債償還金			5億6151万8千円

イ 経営の方針

安定供給の確保及び保安の充実を図るため、効率的かつ計画的に、中圧導管網の整備、経年管の布設替え等を実施していきます。
お客様の安全確保を図るため、定期保安検査及び消費機器の安全な使用の啓発に努めるとともに、お客様の財産である経年埋設内管の取り替えを促進していきます。

また、お客様の利便性の向上に努めるとともに、工業用などの大口需要、事業所等の夏場の冷房に利用する空調契約などの業務用需要、家庭用ガス需要の拡販に取り組み、引き続き健全経営に努めます。

4 長野県水道事業の業務の状況

(1) 事業の概要

平成15年度後期の水道事業の概要は、次のとおりです。

ア 末端給水事業は、前期に引き続き長野市ほか2市1町の給水地域に918万6,505立方メートルを給水するとともに、安定給水の確保を図るため施設の改良工事及び老朽管更新対策事業等を実施しました。

なお、給水戸数及び水道料金の状況は、次の表のとおりです。

月別	区分	給水戸数	有収水量	水道料金
前期計		—	925万3873m ³	16億5825万3818円
10月		6万6632戸	170万3816m ³	3億412万8064円
11月		6万6706戸	149万1849m ³	2億6844万9758円
12月		6万6697戸	156万393m ³	2億8091万5133円
1月		6万6637戸	145万6877m ³	2億6216万6512円
2月		6万6692戸	159万2589m ³	2億8617万6471円
3月		6万6696戸	138万981m ³	2億5120万9172円
後期計		—	918万6505m ³	16億5304万5110円
合計		—	1844万378m ³	33億1129万8928円

イ 水道用水供給事業は、前期に引き続き松本市及び塩尻市に1,482万3千立方メートルの水道用水を供給するとともに安定供給を図るため送水施設の改良工事等を実施しました。

なお、供給量及び用水料金の状況は、次の表のとおりです。

月別	区分	供給量	用水料金
前期計		1482万3000m ³	8億7411万2310円
10月		251万1000m ³	1億4807万3670円
11月		243万0000m ³	1億4329万7100円
12月		251万1000m ³	1億4807万3670円
1月		251万1000m ³	1億4807万3670円
2月		234万9000m ³	1億3852万530円
3月		251万1000m ³	1億4807万3670円
後期計		1482万3000m ³	8億7411万2310円
合計		2964万6000m ³	17億4822万4620円

(2) 経理の状況

損 益 計 算 書

(平成15年4月1日から平成16年3月31日まで)

1 営業収益	49億3169万8956円	
2 営業費用	<u>31億4838万8067円</u>	
営業利益		17億8331万889円
3 営業外収益	1億1029万7865円	
4 営業外費用	<u>13億2236万4905円</u>	<u>△12億1206万7040円</u>
経常利益		<u>5億7124万3849円</u>
当年度純利益		<u>5億7124万3849円</u>
当年度未処分利益剰余金		<u>5億7124万3849円</u>

貸 借 対 照 表

(平成16年3月31日)

資産の部

1 固定資産	583億567万3586円	
2 流動資産	37億8841万2766円	
3 繰延勘定	<u>27万9858円</u>	
資産合計		<u>620億9436万6210円</u>

負債の部

4 固定負債	7億6633万4514円	
5 流動負債	<u>2億6004万7867円</u>	
負債合計		10億2638万2381円

資本の部

6 資本金	396億5260万5664円	
7 剰余金	<u>214億1537万8165円</u>	
資本合計		<u>610億6798万3829円</u>
負債資本合計		<u>620億9436万6210円</u>

(3) 資産、企業債及び一時借入金の現在高 (平成16年3月31日現在)

ア 資 産	620億9436万6210円
イ 企 業 債	317億3197万3255円
ウ 一時借入金	0円

(4) 平成16年度予算の概要及び経営の方針

ア 予算の概要

(ア) 営業関係

末端給水事業については、長野市ほか2市1町の6万7,160戸に年間給水量1,863万4千立方メートルを、水道用水供給事業については、松本市、塩尻市に年間供給量2,956万5千立方メートルを予定し、水道料金等の収益の合計53億5,103万7千円を計上しました。

また、浄水費等維持管理に要する費用の合計47億9,904万5千円を計上しました。

(イ) 建設関係

末端給水事業については、安定給水と安全性確保のため、送・配水施設等の整備を進めるとともに、地震・事故にも強い施設とするため、老朽管更新対策事業を計画的に実施します。

水道用水供給事業については、安定供給と安全性確保のため、浄水施設整備等を実施します。

なお、予算の内容は、次のとおりです。

(収益的収入及び支出)

	収	入
第1款 水道事業収益		53億5103万7千円
第1項 営業収益		53億0382万4千円
第2項 営業外収益		4721万3千円
	支	出
第1款 水道事業費用		47億9904万5千円
第1項 営業費用		34億7506万9千円
第2項 営業外費用		13億2397万6千円
(資本的収入及び支出)		
	収	入
第1款 資本的収入		12億8018万5千円
第1項 企業債		6億5000万円
第2項 負担金		5億3462万8千円
第3項 出資金		9555万7千円
	支	出
第1款 資本的支出		37億3590万5千円
第1項 建設改良費		20億266万円
第2項 企業債償還金		17億3324万5千円

イ 経営の方針

末端給水事業については、安定給水を図るため効率的な管理運営を行い、お客様へのサービス向上に努めるとともに、健全経営に努めます。

水道用水供給事業についても、安定供給を図るため効率的な管理運営に努めます。

また、末端給水事業及び水道用水供給事業ともに、危機管理体制の強化に努めます。

5 長野県観光施設事業の業務の状況

(1) 事業の概要

平成15年度後期においては、白鳥園施設の管理を行いました。

(2) 経理の状況

損 益 計 算 書
(平成15年4月1日から平成16年3月31日)

1 営業費用	<u>1億4343万8581円</u>	
営業損失		1億4343万8581円
2 営業外収益	82万3429円	
3 営業外費用	<u>213万5919円</u>	<u>△131万2490円</u>
経常損失		1億4475万1071円
4 特別利益	<u>11億500万円</u>	11億500万円
当年度利益		9億6024万8929円
前年度繰越欠損金		<u>24億9881万7184円</u>
当年度未処理欠損金		<u>15億3856万8255円</u>

貸 借 対 照 表

(平成16年3月31日)

資産の部		
1 固定資産	16億4282万5113円	
2 流動資産	<u>11億7656万2846円</u>	
資産合計		<u>28億1938万7959円</u>
負債の部		
3 固定負債	2億2455万1744円	
4 流動負債	<u>4321万1779円</u>	
負債合計		2億6776万3523円
資本の部		
5 資本金	40億6868万9058円	
6 剰余金	<u>△ 15億1706万4622円</u>	
資本合計		<u>25億5162万4436円</u>
負債資本合計		<u>28億1938万7959円</u>

(3) 資産、企業債及び一時借入金の現在高（平成16年3月31日現在）

ア 資 産	28億1983万7959円
イ 企 業 債	0円
ウ 一時借入金	0円

(4) 平成16年度予算の概要及び経営の方針

ア 予算の概要

平成14年度末をもって保健休養地事業と観光施設貸付事業を終了したため営業収入はありません。費用として、清算業務に当たる職員の人件費等を計上しました。

(収益的収入及び支出)

	収	入
第1款 観光施設事業収益		82万8千円
第1項 営業外収益		82万8千円
	支	出
第1款 観光施設事業費用		5131万3千円
第1項 営業費用		4491万7千円
第2項 営業外費用		639万6千円

イ 経営の方針

戸倉上山田ヘルスセンター施設の後利用について、検討を行います。

関連出資団体のあり方について、基本的な方針を策定します。